

生産性向上・紙品質向上

実績に裏付けられた高信頼のシュープレス

サクセスシュープレス

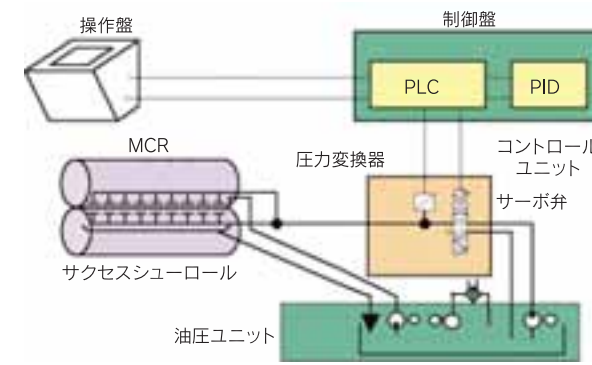
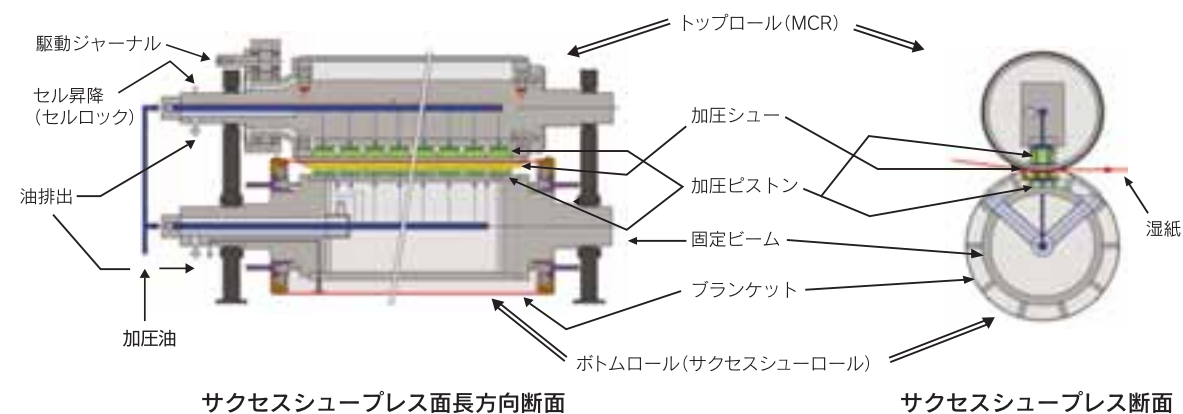
1.サクセスシュープレスの効果

- (1) 従来のロールプレスの5~10倍幅広のニップ幅で、5~10倍高い線圧で運転するので、ロールプレスでは実現できない高い湿紙濃度を達成できます。
- (2) サクセスシュープレスの広幅・高線圧による脱水加圧のためパルプ繊維間の結合が強くなり、その結果、紙のさまざまな特性（引張強さ、破裂度、伸び、層間強度など）が大幅に向上します。
- (3) 相対的に低い面圧による脱水を行うため、高い湿紙濃度と同時に、従来のロールプレスと同等以上の高い嵩の紙を抄造することができます。
- (4) このため、生産増大、紙品質向上、省エネルギー、原料費節減、などを同時に達成でき、大きな利益をもたらします。

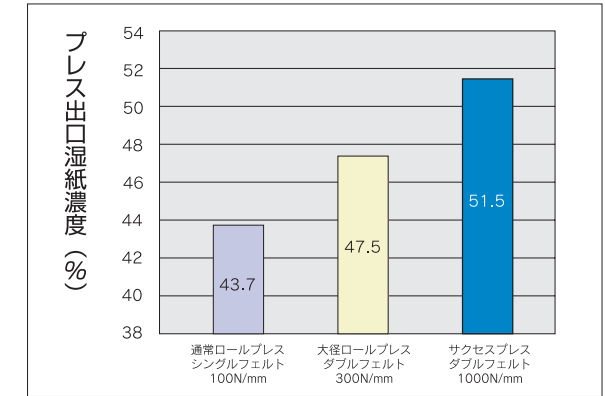
2.サクセスシュープレスの構造と機能

サクセスシュープレスは、ボトムロールにサクセスシューロール、トップロールにMCR（自己加圧式ロール）またはソリッドロールを使用します。

- (1) サクセスシューロールの主要部は、固定ビーム、加圧ピストン、加圧シューとロール表面のブランケットから構成されています。ブランケットは、合成樹脂製で加圧シューによりトップロールに押し付けられます。
- (2) この加圧シューは、固定ビーム上に配置された加圧ピストンの列により、油圧で押し付けられます。

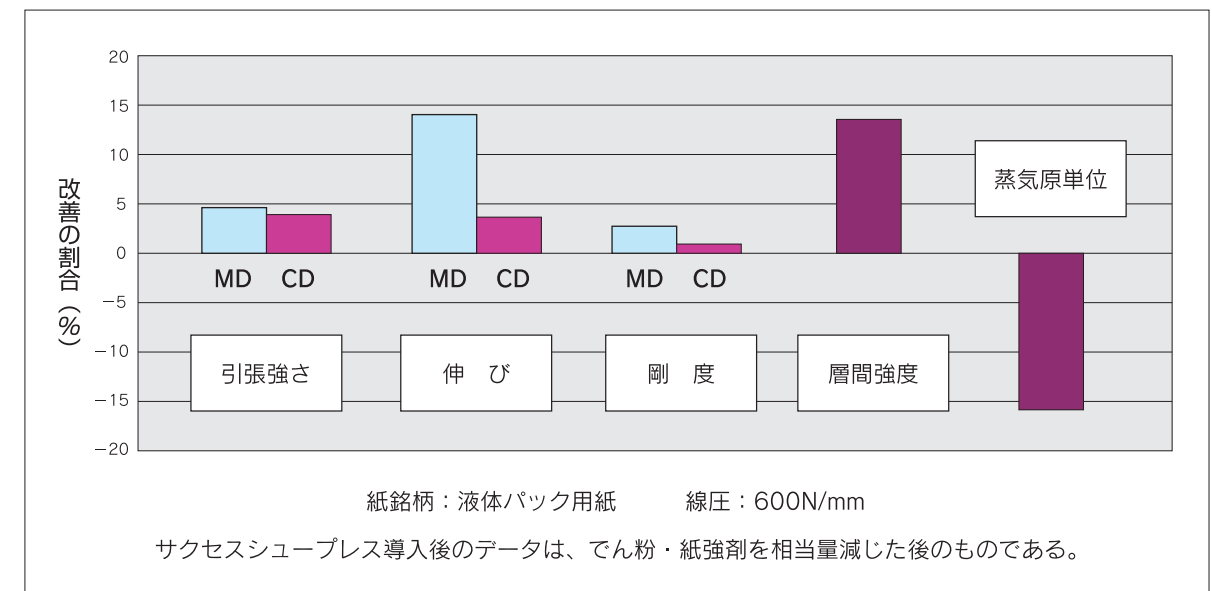


サクセスシュープレスの加圧制御装置



プレス形式と出口湿紙濃度

- (3) 加圧シューの表面には、キャピラリーパイプを通して加圧ピストンの加圧油が噴出して、ブランケットと加圧シューの間を確実に潤滑します（ハイドロスタティック加圧）。また加圧シュー入口部は、別系統の潤滑油により十分に潤滑されています。
- (4) このため、ブランケットと加圧シューの間の潤滑は、速度ゼロから高速運転まで常に安定におこなわれて、長いブランケット寿命を実現します。
- (5) ボトムロールとトップロールの間の加圧は、シンプルな単一系統の油圧制御回路で行い、常に全幅で均一な線圧を発生してブランケットとフェルトの長寿命に寄与し、高信頼の油圧制御装置となっています。
- (6) トップロールは、中型から大型のサクセスシュープレスでは、実績の多い自己加圧式ロールMCRを使用しているため、ロール機能の信頼性が高く、またニップ開放が容易なため、フェルト替え・ロール替えが簡単に行えます。
- (7) 小型のサクセスシュープレスでは、ソリッドロールをトップロールに使用して、信頼性とコスト低減を同時に実現しています。



サクセスシュープレス導入による紙力と蒸気原単位の改善